



2026 年 4 月

【東大用】

enPiT-Security “SecCap コース” 資料一覧

- 資料 1 : enPiT-Security(SecCap コース)の概要
- 資料 2-1 : 2026 年度 SecCap 科目および実践演習モジュールリスト(情セ大開講分)
- 資料 2-2 : 2026 年度 SecCap 東京大学指定 基礎科目リスト
- 資料 3 : SecCap 参加について
- 資料 4-1 : 2026 年度 SecCap 他大学開講科目リスト
- 資料 4-2 : 2026 年度 SecCap 他大学開講科目概要
- 資料 5 : SecCap 参加登録申請書サンプル

(SecCap 参加登録申請)

- SecCap 参加登録申請書

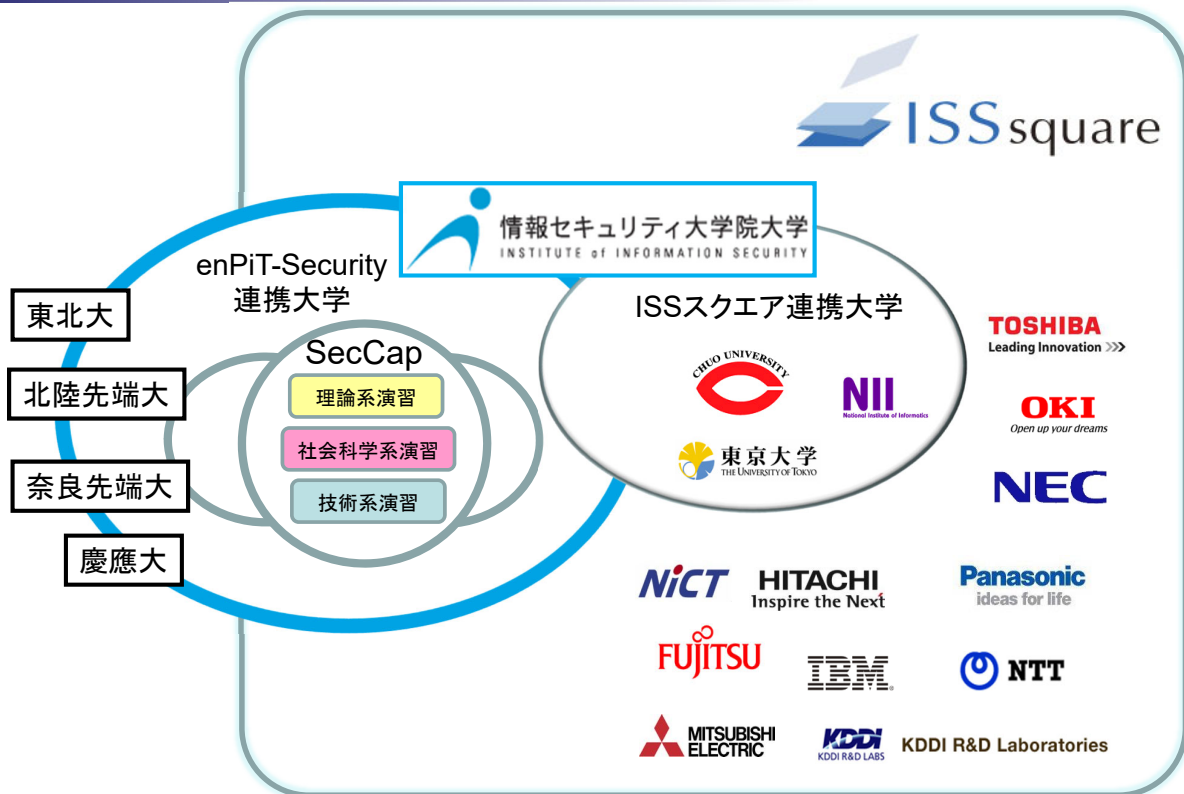
2026年度 SecCap資料

enPiT-Security(SecCapコース) の概要

情報セキュリティ大学院大学



ISSスクエアとenPiT-Security



■ 実践セキュリティ人材

- 社会・経済活動の根幹にかかわる情報資産および情報流通のセキュリティ対策を、技術面・管理面で牽引できる実践リーダー

■ enPiT-Security

- 文科省「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業: 分野・地域を越えた実践的情報教育協働NW」のセキュリティ分野の取組みとしてスタート(平成24年10月～平成29年3月)

■ 平成29(2017)年度からは5連携大学の自主的な取組みとして継続

情報セキュリティ大学院大学、東北大学

北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学

慶應義塾大学



enPiT-Security: SecCapコース



- 実践力の育成: 5つの連携大学が協力して開講する実践セキュリティ人材の育成コース(**SecCap**)によって、幅広いセキュリティ分野の最新技術や知識を具体的に体験を通して習得
- 幅のあるコース: 技術的な知識, 例えば, 暗号をベースとする情報セキュリティ技術, Webサーバのセキュリティ技術, ネットワークセキュリティ技術から, 法制度やリスク管理などの社会科学的な知識までをカバー
- キャリアデベロップメント: 受講生は, 技術系, 理論系, 社会科学系の講義や実践演習から, それぞれが目指すキャリアパスに沿った割合で, 主体的・自主的に調合した学習プログラムを作って受講.



基礎知識学習

共通科目(必修): 情報セキュリティ特別講義

基礎科目: 所属大学指定科目

実践演習科目

(情セ大 開講)

- 特設実習(セキュリティ実践Ⅰ)
- 特設実習(セキュリティ実践Ⅱ)
- I-01: NWとWebアプリのセキュリティ検査と対策演習
- I-02: デジタルフォレンジック演習
- I-03: Capture The Flag(CTF)入門と実践演習
- I-04: インシデント対応とCSIRT基礎演習

(他大学で開講される予定の演習)

- インシデント対策基礎・応用
- ハードウェアセキュリティ演習

先進科目

(情セ大 開講)

- 実践的IoTセキュリティ
- 特設講義(データ・サイエンスとアナリティクス)

(他大学で開講される予定の講義)

- 情報セキュリティ法務経営論(東北大) 等

その他の活動

企業インターンシップ

交流ワークショップ



enPiT-Security: SecCapの修了認定

■ SecCap修了認定: 大学院修士(単位認定)

- 共通科目: 2単位 ● 実践演習 and/or 先進科目: 4単位
- 基礎科目: 4単位(所属大学指定科目の中から選択)



■ SecCap10: “Security Specialist”認定

SecCap受講生が1年間で、以下を取得できた場合は「SecCap10」を授与し、“Security Specialist”として認定する。

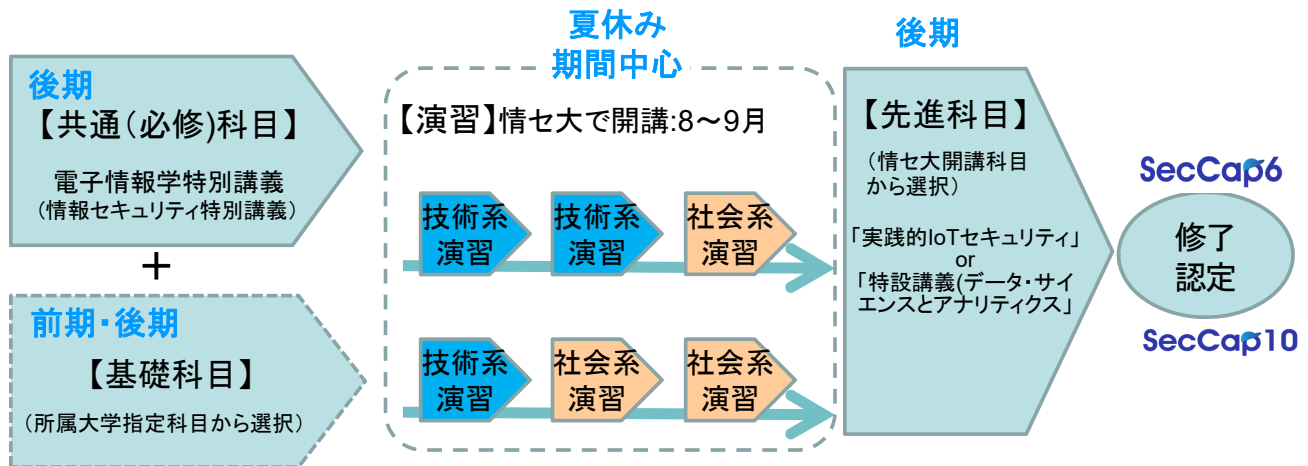
- 共通科目: 2単位 ● 実践演習 and/or 先進科目: 8単位
- 基礎科目: 4単位(所属大学指定科目の中から選択)



受講生が目指すキャリアパスに向けて、技術系、社会科学系の実践演習を主体的に選択

共通(必修)科目(2単位)
& 基礎科目(4単位)
(基礎力)

実践演習科目 and/or 先進科目(4単位以上)
(実践力・応用力)



今後の予定

- 2026年4月16日(木) SecCap参加登録申請書提出期限

【提出先】

東京大学 学務課大学院チーム 情報理工担当(工学部8号館1階)

- ※ 情セ大にて参加登録申請書を受領後、SecCap演習の登録調整有り
- ※ 後期開講の先進科目「実践的IoTセキュリティ」は、演習機材数の制約により受入れ制限があり、10月半ばの情セ大後期履修登録期限後に他大学からの履修希望者の受入れ可否が決定することとなる。SecCap修了認定を目指す学生は、本科目以外の演習・先進科目により、修了認定要件を満たせるよう登録申請することを勧める。

- 2026年5月中旬:SecCapコース登録内容確認票配布(予定)
- 2026年夏季:SecCap実践演習の実施
- 2027年3月:SecCap修了認定



【情セ大】2026年度 SecCap科目および実践演習モジュールリスト(予定)

種別	科目名	設置大学院	担当教員	単位数	時期	日程(予定)	時間帯	開講場所	他大学受け入れ可否(定員)	備考
共通必修	情報セキュリティ特別講義	情セ大	須崎・後藤	2	後期	10/7~(15回)	水曜 5限 (18:20-19:50)	情セ大	○(一)	他大学の拠点に配信予定

種別	科目名	実践演習モジュール名	設置大学院	担当教員	単位数	時期	日程(予定)	時間帯	開講場所(※)	他大学受け入れ可否(定員)	備考
実践演習	特設実習(セキュリティ実践Ⅰ) (2単位)	I-01 NWとWebアプリのセキュリティ検査と対策演習	情セ大	種茂 他	1相当	通年	8/17(月),18(火),19(水),20(木)	9:00-16:10	情セ大	○(10)	
		I-02 デジタルフォレンジック演習	情セ大	種茂 他	1相当		9/15(火),16(水),17(木),18(金)	9:00-16:10	情セ大	○(10)	
	および 特設実習(セキュリティ実践Ⅱ) (2単位)	I-03 Capture The Flag (CTF)入門と実践演習	情セ大	宮本	1相当		8/8(土) +実CTF競技会での実践	9:00-16:10	情セ大他	○(10)	
		I-04 インシデント対応とCSIRT基礎演習	情セ大	種茂 他	1相当		9/1(火),2(水),3(木),4(金)	9:00-16:10	情セ大他	○(10)	

種別	科目名	設置大学院	担当教員	単位数	時期	日程・時間帯(予定)	開講場所(※)	他大学受け入れ可否(定員)	備考
先進科目	実践的IoTセキュリティ	情セ大	須崎・荻野	2	後期	10/5~(15回) 月曜 5限 (18:20-19:50)	情セ大	受入制限あり。10月半ば以降受入可能数確定	
	特設講義(データ・サイエンスとアナリティクス)	情セ大	高橋	2	後期	10/2~(15回) 金曜 6限 (20:00-21:30)	情セ大	○(10)	

種別	授業科目名	設置大学院	教員	単位	時期	曜日・時限(予定)	開講場所	他大学受け入れ可否(定員)	備考
基礎科目	ネットワーク設計とセキュリティ運用	情セ大	種茂	2	前期	オンデマンド講義	情セ大	ISSスクエア扱い	
	セキュリティシステム監査	情セ大	堀江・丸山	2	前期	土 2限	情セ大	ISSスクエア扱い	
	リスクマネジメントと情報セキュリティ	情セ大	桑名・藤澤	2	前期	木 6限	情セ大	ISSスクエア扱い	
	セキュアシステム構成論	情セ大	辻	2	後期	木 6限	情セ大	ISSスクエア扱い	
	暗号プロトコル	情セ大	有田	2	後期	火 4限	情セ大	ISSスクエア扱い	
	セキュア法制と情報倫理	情セ大	村上・小林(良)	2	後期	木 5限	情セ大	ISSスクエア扱い	
	セキュアプログラミングとセキュアOS	情セ大	盛合	2	後期	土 1限	情セ大	ISSスクエア扱い	
	サイバーセキュリティ技術論	情セ大	後藤・羽田・森井	2	後期	土(10/3~隔週) 3-4限	情セ大	ISSスクエア扱い	

■2026年度 SecCap 基礎科目リスト(東京大学指定科目)

2026年度 SecCapコース 東京大学開講 基礎科目(所属大学指定科目)

授業科目名	時期	曜日・時限	単位	担当教員	設置大学院
現代情報理論(隔年開講)	S1S2	水2	2	高安 敦	東大
サイバーセキュリティ実践論(毎年開講)	A1A2	集中	2	関谷 勇司	東大
並列分散プログラミング(隔年開講)	A1A2	月5	2	田浦 健次朗	東大
インターネット工学(隔年開講)	S1S2	火5	2	江崎 浩	東大
アドバンス情報セキュリティ(隔年開講)	A1A2	月4	2	松浦 幹太	東大
IoTシステム工学(隔年開講)	S1S2	火4	2	落合 秀也	東大
データプラットフォーム工学(隔年開講)	S1S2	火3	2	合田 和生	東大
情報理工学連携講義II(毎年開講)	A2	金5	1	高橋 健太	東大

※以下、2026年度情報セキュリティ大学院大学開講の基礎科目からも選択可能。(一部遠隔配信あり)

授業科目名	時期	曜日・時限	単位	担当教員	設置大学院
ネットワーク設計とセキュリティ運用	前期	オンデマンド講義	2	種茂	情セ大
セキュリティシステム監査	前期	土 2限	2	堀江・丸山	情セ大
リスクマネジメントと情報セキュリティ	前期	木 6限	2	桑名・藤澤	情セ大
セキュアシステム構成論	後期	木 6限	2	辻	情セ大
暗号プロトコル	後期	火 4限	2	有田	情セ大
セキュア法制と情報倫理	後期	木 5限	2	村上・小林(良)	情セ大
セキュアプログラミングとセキュアOS	後期	土 1限	2	盛合	情セ大
サイバーセキュリティ技術論	後期	土(10/3～隔週) 3-4限	2	後藤・羽田・森井	情セ大

SecCap 参加について (補足説明)

1. 全体～共通要件・注意事項など～

A) “SecCap 修了認定”の要件

SecCap 受講生が 1 年間または 2 年間で所定の単位を取得できた場合は、年度末に SecCap 修了認定証を授与する。

1. 共通科目(必修) : 2 単位
2. 実践演習科目 and/or 先進科目 : 計 4 単位
3. 基礎科目 : 4 単位 (所属大学指定科目の中から選択)

B) SecCap10 : “Security Specialist”認定の要件

SecCap 受講生が 1 年間で修了認定要件を満たし、かつ実践演習科目 and/or 先進科目で 8 単位以上を取得した場合は「SecCap10」を授与し、“Security Specialist”として認定する。

C) 履修申請時期について

- 通年科目(実践演習)、前期開講基礎科目、後期開講の共通科目、先進科目、および基礎科目ともに前期に履修申請 (SecCap 参加登録申請書を提出) すること。

D) SecCap 提供科目を履修した場合の単位の扱い

- 情セ大及び他大学で開講される SecCap 提供科目を受講した場合、取得単位は SecCap 修了認定に反映される。
- SecCap プログラムにおける取得単位が、所属大学の課程修了所要単位として認められるかどうかについては所属大学(貴学 学務課大学院チーム 情報理工担当)に確認すること。

E) 実践演習の履修取止め

やむを得ず、履修できなくなった演習が生じた場合は、開講日の 1 週間前までに連絡すること。

連絡先 : 情セ大 SecCap 担当 (seccap@iisec.ac.jp)

F) やむを得ず、演習、先進科目を欠席する場合は、授業開始前までに連絡すること。

連絡先 : 情セ大 SecCap 担当 (seccap@iisec.ac.jp)

2. 情セ大開講の SecCap 実践演習科目の履修申請

A) 情セ大開講の SecCap 実践演習科目

- 特設実習（セキュリティ実践Ⅰ）、特設実習（セキュリティ実践Ⅱ）を開講する。ともに、情セ大開講の演習モジュールのみを対象とする。

B) 演習モジュール履修申請の際の注意

- I-01～I-04 の各演習モジュールは1単位相当である。よって、特設実習（セキュリティ実践Ⅰ）の2単位を取得するためには2モジュール、特設実習（セキュリティ実践Ⅰ）および特設実習（セキュリティ実践Ⅱ）の各2単位（計4単位）を取得するためには、4モジュールの履修が必要となる。また1モジュールのみ履修することはできない。

C) 定員について

- 各演習モジュールには、機材の制約等から定員を設ける。希望者が定員を上回った場合は、選考を行う。選考の結果、受講できない演習または演習モジュールが生じた場合は、別途相談する。

D) 成績評価について

- 演習モジュール毎に成績を評価し、その成績を合算して成績とする。なお、3モジュール以上の演習を受講した場合、その中で成績の上位から2つずつを合算する。
 - 特設実習（セキュリティ実践Ⅰ）の成績：成績上位1番目+2番目
 - 特設実習（セキュリティ実践Ⅱ）の成績：成績上位3番目+4番目

3. 他大学開講の SecCap 実践演習科目の履修申請

- A) 演習科目毎に定められている受講条件、受講場所を確認して申請(SecCap 参加登録申請書を提出)すること。
- B) 事前に貴学 学務課大学院チームを通して、情セ大 SecCap 担当宛てに参加申請について相談することを勧める。

以上

【本件に関するお問合せ先】 情セ大 SecCap 担当(seccap@iisec.ac.jp)

2026年度 他大学開講のSecCap実践演習モジュールリスト（情セ大学生が受講できるもの）※但し、人数制限あり

【本件に関するお問合せ先】情セ大 SecCap担当 成瀬(seccap@iisec.ac.jp)

ID	科目名	実践演習モジュール名	設置大学院	担当教員	単位数	時期	日程(予定)	時間帯	受講場所
N-01	情報セキュリティ演習A	インシデント対策基礎・応用	NAIST	門林 他	1	集中	9/16～18		NAIST
N-02	情報セキュリティ演習B	ハードウェアセキュリティ演習	NAIST	林 他	1	集中	7/29～7/31※2日間に短縮の可能性あり		NAIST

2026年度 他大学開講のSecCap先進科目リスト（情セ大学生が受講できるもの）

ID	科目名	設置大学院	担当教員	単位数	時期	日程(予定)	時間帯	受講場所
TH	情報セキュリティ法務経営論	東北大	樋地・中村・高谷	2	後期	10/7～(15回)	水 5限 (16:20-17:50)	オンライン受講 (予定)

※ 情セ大以外の学生が上記科目の受講を希望する場合は、別途、各設置大学院との協定が必要です。

他大学開講のSecCap 実践演習・先進科目概要(情セ大学生が受講できる科目)

<実践演習>

ID	科目名	実践演習モジュール名	設置大学院	概要
N-01	情報セキュリティ演習A	インシデント対策基礎・応用	NAIST	<p>情報セキュリティ運用リテラシーIで得られた基本的な実践力をもとに、さらなる応用、適用能力を養うために、より現実に近い環境を想定した分析を行い、ある程度の専門知識を有したメンバーで構成されたグループ内で議論を展開させ、理解を深める。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インシデント対策基礎 セキュリティ対策が求められる具体的な組織を想定し、様々なインシデント発生とそれに付随するインシデント対応を模擬的に経験することにより、インシデント対応における具体的な役割分担、ならびに取りうるアクションについて体験的に学ぶ。 ○インシデント対策応用 セキュリティ管理策が欠けている具体的なネットワーク型情報システムを複数想定し、それぞれに対して考える様々な脅威の種類を演習ツールを用いて繰り返し検討することにより、脅威モデルの考え方、およびセキュリティ管理策の網羅性の検討方法について体験的に学ぶ。 ○インシデント対策まとめ ネットワーク型情報システムに対する標的型攻撃と、それに対するセキュリティ管理策の有効性を演習ツールを用いて繰り返し検討することにより、多様かつ多段にわたる標的型攻撃の性質、対策の考え方、ならびに個々の標的型攻撃に対するセキュリティ管理策の実効性について体験的に学ぶ。
N-02	情報セキュリティ演習B	ハードウェアセキュリティ演習	NAIST	<p>情報通信機器などのハードウェアから情報漏えいが生じるメカニズムを学び、実験を通して物理的セキュリティに関する問題に対する理解を深め、ハードウェアセキュリティ対策の重要性を学ぶ。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハードウェアセキュリティ概要 ハードウェアセキュリティの概要を説明するとともに、コンピュータハードウェアとその動作原理を解説する。また、ハードウェア動作中に生じる消費電力や電放射磁波の計測の演習を行う。 ○公開鍵暗号に対するサイドチャネル攻撃とその対策 暗号アルゴリズムの基礎を解説するとともに、暗号アルゴリズムのハードウェア実装を行う。また、公開鍵暗号に対するサイドチャネル解析とその対策に関する演習を行う。 ○共通鍵暗号に対するサイドチャネル攻撃とその対策 共通鍵暗号に対するサイドチャネル解析とその対策に関する演習を行う。最後に、ハードウェアセキュリティに関する発表と議論を行う。

<先進科目>

設置大学院	科目名	概要
東北大	情報セキュリティ法務経営論	<p>変動著しい現代の情報社会において 情報セキュリティは、さまざまな面でますます重要になってきている。取り扱う情報の量の増加と質の多様化は情報セキュリティに技術的な広がりをもたらすと同時に、社会制度や法律との関係においても新たな問題を生じさせている。さらに、組織や社会に情報セキュリティを定着させるには、経済的合理性や組織マネジメントも不可欠である。本講義は、情報セキュリティ技術を組織の中で利用するために必要な社会的側面を説明できる能力の習得を目的とする。そのために本講義は、情報セキュリティを導入し定着させるために必要な経営上の意思決定方法について説明を行う。</p>

【本件に関するお問合せ先】情セ大 SecCap担当(seccap@iisec.ac.jp)

SecCap参加登録申請書(サンプル)

2026年 4 月 16日

情報セキュリティ大学院大学		情報セキュリティ		研究科長 殿			
私 <u>横浜 太郎</u> は、実践的情報教育人材育成プログラム セキュリティ分野「SecCap」プログラムへの参加登録を以下のとおり申請いたします。							
所属	大学院名	〇〇〇大学 大学院					
	専攻・研究室	〇〇専攻・XX研究室	学籍番号	1234567 (2026年 4 月入学)			
フリガナ		ヨコハマ タロウ		生年月日	20XX年 X 月 XX 日	性別	男
氏名(日本語表記)		横浜 太郎					
氏名(英語表記)		Taro Yokohama					
出身大学等		(国) 公立 XXX 大学 XXX 学部 XXX 学科卒業 (xxxx年 x 月)	卒業(年 月)		修了(年 月)		
現職等 (社会人のみ)							
現住所等		〒xxx-xxxx 〇〇県〇〇市〇〇町x-xx-xxx					
連絡先電話番号		xxx-xxxx-xxxx		Eメールアドレス	hoge@xxx.xx.xx		

◆履修するプログラム科目

科目区分	授業科目名	設置大学院	担当教員	単位数	期	曜日・時限・演習No.等	諾否
共通科目 (必修)	電子情報学特別講義	東大	江崎・松浦	2	後期	水(18:20~19:50)	
基礎科目 (所属大学指定科目)	現代情報理論	東大	高安	2	S1S2	水・2限	
	インターネット工学	東大	江崎	2	S1S2	火・5限	
	アドバンス情報セキュリティ	東大	松浦	2	A1A2	月・4限	
演習(※)	特設実習(セキュリティ実践 I)	情セ大	後藤	2	通年	I-01, I-03	
	(情セ大以外の連携大学開講の演習も選択可能。但し、個別調整になります。)						
先進科目	特設講義(データサイエンスとアナリティクス)	情セ大	高橋	2	後期	金(20:00~21:30)	
	実践的IoTセキュリティ	情セ大	須崎・荻野	2	後期	月(18:20~19:50)	

(※1) 特設実習(セキュリティ実践 I), 特設実習(セキュリティ実践 II)の履修登録について

- 2~3つの演習モジュールの履修を希望する場合:
授業科目名欄に特設実習(セキュリティ実践 I)と記載し、曜日・時限・演習No.等の欄に履修を希望する演習モジュール(I-01~I-04から選択)を記載すること。
- 4つの演習モジュール(I-01~I-04)全ての履修を希望する場合:
授業科目名欄に、特設実習(セキュリティ実践 I), 特設実習(セキュリティ実践 II) と両科目名を記載すること。

* 演習において希望者が定員を上回った場合は、選考を行う。選考の結果、受講できない演習が生じた場合は、別途相談する。

(※2) 先進科目「実践的IoTセキュリティ」(後期開講科目)について

演習機材数の制約により受入れ制限があり、10月半ばの情セ大後期履修登録期限後に他大学からの履修希望者の受入れ可否が決定することとなる。SecCap修了認定を目指す学生は、本科目以外の演習・先進科目により、修了認定要件を満たせるよう登録申請することを勧める。